

# 津田工業(株)

プラスチック成型品の外側に装飾的な表面処理加工を行う津田工業株式会社。化粧品容器への表面加工の全国シェアは30%以上と国内一を誇り、海外の有名化粧品メーカーからも注文が入ります。

現在は埼玉県で、昭和41年の創業から培われた真空蒸着加工による生産実績に加え、独自の特許技術を有

するなど、その確かな技術と経験をもとに化粧品関連の需要を拡大。西日本エリアの拠点として、平成30年、広さや環境面の良さ、アクセスの利便さを兼ね備えた北勢田工業団地に紀の川工場を稼働しました。

現在の川工場では、1日に8〜10万個の容器に表面処理を行っており、現在、66人の社員が勤務していま

す。貴志川地区在住の上原郁恵さん(42)は、表面処理の機械に容器をセッティングする作業を担当しています。「自分が携わった商品が店頭に並んでいるのを見ると、やりがいにつながります」と話す上原さん。工場のオープニングスタッフとして採用された上原さんは、今では後輩たちの育成も行っています。他の部署とも、きめ細やかなコミュニケーションを取り、互いに連携を図ることで、美しく洗練された製品が生み出されています。



1機械に容器を一つひとつ丁寧にセッティングする上原さん。23アットホームな雰囲気、チームワークも抜群!

女性が社員の約6割を占める津田工業。子育てサポート企業として、厚生労働大臣の認定「くるみん認定」を取得しています。1時間単位の時間休暇や看護休暇などの柔軟な勤務制度を設けているほか、各工場に子育てアドバイザーを配置。妊娠中から出産、育児休暇や職



津田工業(株) 紀の川工場  
工場長 山田 康弘さん

場復帰後の働き方など、様々な不安に対して子育て経験者が相談に応じること、家庭と仕事の両立がしやすい環境を整えています。

また、令和元年11月から、県の企業の森事業を活用し、切畑地区で、草刈りや植林にも取り組んでいます。「活動を通じて環境への理解を深め、地域団体との交流も行っていくたいです」と話すのは、紀の川工場です。工場長を務める山田康弘さん(50)は、ほかに、綱引き大会や工業団地内のソフトボール大会への出場など、地域イベントにも積極的に参加しています。さらに、活動後に社員みんなでバーベキューを行うなど、社員同士の交流も深めています。

「自ら考え、何事にもチャレンジできる環境を作っていけたら」と話す山田さん。あたたかな雰囲気の中で、豊かな人間性を備えた人材が育まれています。



▲面積0.4ヘクタールの津田工業の森。元年11月17日の第1回活動では、草や笹の刈り払いを行いました。



津田工業(株)の  
ホームページはこちら